



第42回全国少年少女レスリング選手権大会 ルールについて（事前展開）

令和 7年 7月 7日

非営利活動法人全国少年少女レスリング連盟
審判委員長 江坂知久

平素より活動へのご理解ご協力ありがとうございます。

本年度開催されます全国少年少女レスリング選手権大会において、現在HP（[ルールについて | NPO全国少年少女レスリング連盟](#)）にて25.1付で展開しておりますルールにて実施をします。
以下について採用、および補足しますので事前に内容についてご確認をお願いします。

1. 1点について 以下採用をします

・グラウンドレスリングの展開において、下の選手が相手の背後に回るカウンター攻撃（リバーサル）

2. 2点 相手をマットに制し、コントロール について

コントロールについて、以下補足をします

○相手の背後に回り、3点接地（両手・両ひざ・頭・肘のうち）させた場合。

○防御側選手が完全に座り、攻撃側選手が背後に回っている状態。（以下写真）

※防御側選手がスイッチ等で即時カウンター攻撃を仕掛けている場合には得点は発生しない。



停滞で有れば赤2点



アクションが継続で有ればノーコントロール

3. ルールブック 12. 場外定義 ③グラウンドの場合 について

現状“防御側の選手の両肩が場外に出た場合。”と記載されています
他の項含め、以下の様に場外、場内について補足をします

	場外				場内	
写真						
ポイント	赤1	青1	無し	無し	無し	無し
補足	青が完全に1足出た	スタンドから直接ヘッドタッチした	グラウンドから場外にヘッドタッチした	ヘッドタッチしていないが、腰の位置が場外に出た	ヘッドタッチしていない	停滞なくネルソン等技によるフォールの可能性がある位置である 停滞した場合は場外

参考、今後のルール改正について

原則、UWWルールに則り大会開催できるよう、継続的にルール改正、審判員のレベルアップに努めて参ります。
皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。